

重点目標一覧表

担当部局名	上下水道局
-------	-------

【平成24年度重点目標】

【平成25年度重点目標】

重点目標	災害に備えた施設・組織づくり		重点目標	災害に備えた施設・組織づくり	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
1	上水道基幹施設・管路耐震化	配水池、ろ過池の耐震診断は未実施 老朽管布設替 目標1.1kmに対し、1.9km発注（0.6km完成） 管路の耐震化 目標4.1kmに対し、4.6km発注（2.1km完成）	上水道管路耐震化 上水道緊急連絡管整備 災害時に対応できる技術者育成 災害発生時のバックアップ体制の検討 危機管理マニュアルに基づく想定訓練の実施	老朽管の布設替 2.0km 管路の耐震化 3.3km 0.6km 上水道技術伝承研修会年4回実施 クレーン・玉掛（作業主任資格）2名取得 危機管理マニュアル見直し、加圧給水車購入 2回	
	下水道老朽管の管更生 災害時に対応できる技術者育成 想定訓練の実施	目標0.7kmに対し、0.7km発注・完成 上水道技術伝承研修会 月1回に対し、年間7回実施 クレーン・玉掛（作業主任資格）目標の2名取得 目標2回に対し1回実施			
重点目標	経営効率化の推進		重点目標	経営効率化の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
2	事業実施計画の策定に伴う財政推計の見直し 下水道処理場、管渠の長寿命化計画策定 収納率の向上 ・水道料金・下水道使用料現年度分 ・下水道負担金・分担金現年度分 経営改革の取組 ・ネーミングライツの検討、広告掲載事業の拡大 ・料金等徴収業務の包括委託に向けた検討、水道開栓受付業務の見直し ・施設の指定管理者化の検討 技術力の継承及び向上	経営方針及び今後10年間の事業計画を策定 7処理場、3ポンプ場の健全度評価完了 ・目標99%に対し、98.75%（2月末現在） ・目標96%以上に対し、94.37% ・掲載対象、効果等について先進地の実態調査を実施 ・業務内容の洗い出し、概算金額の算出等を実施 ・現状分析と課題を抽出し先進地を2件視察 目標32項目延べ43人に対し、22項目延べ30人	経営方針に基づく業務改善の推進 下水道施設の長寿命化計画の策定 収納率の向上 ・水道料金・下水道使用料現年度分 ・下水道負担金・分担金現年度分 経営改革の取組 ・広告掲載事業の検討 ・料金等徴収業務の包括的民間委託化の推進 ・浄水場施設維持管理業務の民間委託化の検討 ・終末処理場の包括委託手法の検討 公営企業会計の抜本的改正に伴う対応	業務改善計画の策定と実施 財源計画及び事業計画と整合を図る 中で、第1次5ヵ年整備計画策定 ・99% ・96% ・方針決定 ・方針決定 ・方針決定 ・方針決定 平成26年度予算から適用	
	事業実施計画の策定に伴う財政推計の見直し 下水道処理場、管渠の長寿命化計画策定 収納率の向上 ・水道料金・下水道使用料現年度分 ・下水道負担金・分担金現年度分 経営改革の取組 ・ネーミングライツの検討、広告掲載事業の拡大 ・料金等徴収業務の包括委託に向けた検討、水道開栓受付業務の見直し ・施設の指定管理者化の検討 技術力の継承及び向上	経営方針及び今後10年間の事業計画を策定 7処理場、3ポンプ場の健全度評価完了 ・目標99%に対し、98.75%（2月末現在） ・目標96%以上に対し、94.37% ・掲載対象、効果等について先進地の実態調査を実施 ・業務内容の洗い出し、概算金額の算出等を実施 ・現状分析と課題を抽出し先進地を2件視察 目標32項目延べ43人に対し、22項目延べ30人			
重点目標	上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給		重点目標	上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
3	水源改修・改良 水源水質検査の充実 真田地区の簡易水道統合に向けた地元協議 鉛給水管の布設替	武石地区（唐沢）水源工事完成 湧水水源のクリプトスポリジウム検査を強化 濁度計4か所設置工事発注済 セシウム134及び137の検査を毎月実施 地元で設立された対策委員会と協議していくことになった。 目標600か所に対し、513箇所発注（496箇所完成）	水源改修・改良 水源水質検査の充実 ・真田、武石の湧水水源の安全対策及び検査強化 真田地区の簡易水道統合 鉛給水管の布設替	武石地区（権現、長坂）水源の改修 ・湧水水源へ紫外線照射装置設置4箇所 ・クリプトスポリジウム検査の強化 ・セシウム134及び137の検査継続 対策委員会と協議し整備方針を決定 500箇所	
	水源改修・改良 水源水質検査の充実 真田地区の簡易水道統合に向けた地元協議 鉛給水管の布設替	武石地区（唐沢）水源工事完成 湧水水源のクリプトスポリジウム検査を強化 濁度計4か所設置工事発注済 セシウム134及び137の検査を毎月実施 地元で設立された対策委員会と協議していくことになった。 目標600か所に対し、513箇所発注（496箇所完成）			
重点目標	快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進		重点目標	快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
4	下水道未整備箇所の管渠工事の実施 水洗化率の向上 安定した処理能力の確保 下水道全体計画の見直し 浄水場堆積物を、改良土として有効活用 新工場の実証調査結果を基に、小水力発電等について補助内容、導入効果について検討	目標4.6kmに対し、4.5km発注（3.6km完成） 新規接続戸数目標965戸に対し991戸新規接続 上田処理場の汚泥処理施設の更新工事完成 南部処理場の汚泥機械電気設備の増設工事完成 公共下水道と農業集落排水事業統合の全体計画策定 改良土化 目標600㎡に対し、530.5㎡ 導入に向けて実施設計発注済	下水道未整備箇所の管渠工事の推進 水洗化の促進 安定した処理能力の確保 農業集落排水の公共下水道統合事業の推進 浄水場堆積物を、改良土として有効活用 再生可能エネルギーの活用	3.9km 新規接続700戸 管平浄化センターのポンプ設備更新実施設計発注 3地区に係る財産処分調査の実施 改良土化600㎡ 小水力発電設備導入	
	下水道未整備箇所の管渠工事の実施 水洗化率の向上 安定した処理能力の確保 下水道全体計画の見直し 浄水場堆積物を、改良土として有効活用 新工場の実証調査結果を基に、小水力発電等について補助内容、導入効果について検討	目標4.6kmに対し、4.5km発注（3.6km完成） 新規接続戸数目標965戸に対し991戸新規接続 上田処理場の汚泥処理施設の更新工事完成 南部処理場の汚泥機械電気設備の増設工事完成 公共下水道と農業集落排水事業統合の全体計画策定 改良土化 目標600㎡に対し、530.5㎡ 導入に向けて実施設計発注済			
重点目標	塩田、川西地区の県営水道の統合推進		重点目標	長野県企業局との連携による塩田、川西地区の県営水道の統合推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
5	県営水道を分割移管するための1企業4市町での検討	移管検討会作業部会に4回参加 （他事業者からの供給方法の検討）	県営水道を分割移管するための1企業4市町での検討	移管検討会作業部会に参加 （他事業者からの供給方法の検討）	
	県営水道を分割移管するための1企業4市町での検討	移管検討会作業部会に4回参加 （他事業者からの供給方法の検討）			

市長指示事項	市長指示事項
<ul style="list-style-type: none"> ・布設替等については、計画的に着実に進めること。 ・経営改革については、先進地事例も研究しながら常に改革の姿勢を崩さぬよう取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画については、目標を持ち着実に実施できるよう取り組むこと。 ・小水力発電設備については見直しをつけ、導入できるよう鋭意取り組むこと。